

令和5年10月17日
兵庫県企画部万博推進局

ひょうごフィールドパビリオンプロモーションストーリー

プログラムのグルーピングから見えてきた方向性

主要なグループとキーワード

日本酒・山田錦

播磨国風土記の最古の記述、清酒の起源、清酒生産量日本一、日本一の酒処灘五郷、宮水、六甲おろし、丹波杜氏、山田錦のふるさと、山田錦特A地区、農業土木基盤

神戸ビーフ・但馬牛

美味しさの秘密、文明開化、和牛のルーツ、品種維持の取り組み、牛とともに暮らす、世界農業遺産、自然放牧、循環型農業、食肉加工技術

2つの海域

日本海と瀬戸内海、豊富な魚種、海洋環境保全、水産資源保全、貧栄養化対策、海運

日本の縮図

大都市、里山、山間部、積雪地域、漁村、島・離島、城下町、宿場町

里山・里海、暮しとの関係性、日本の原風景、山から里・里から海へのつながり、守り受け継ぐ取り組み、地域ならではの伝統芸能や祭事

地場産業

(工業系)

金物、アイアン、釣針、算盤

(建築系)

淡路瓦、竜山石

(ファッション系)

真珠加工、播州織、姫革細工、豊岡鞆、淡路線香、丹波焼

(食品系)

清酒、手延素麺、淡口醤油

農閑期・休漁期の副業、軟鉄鍛造、硬水と軟水、偏西風、粘土、輸送の利便性、技術承継、新たな挑戦、全国シェア

国産みの島

国産み神話、香木伝説、偏西風と乾燥産業、御食国、淡路の食糧自給率、淡路環境未来島構想、明石海峡大橋と送水

循環型農業

コウノトリの野生復帰、但馬牛世界農業遺産、有機・無農薬

創造的復興

阪神淡路大震災30年、北但震災100年、南海トラフ、H21水害、太平洋戦争終戦80年

歴史的なルーツをもつものが多い

日本一や世界一のものが多い

日本のあらゆる要素がある

これらの背景となる水・大地・空気(風)のストーリーある

歴史的ルーツがあるもの



植生豊かな湿地帯が
コウノトリの聖地となりました



神話によるとこの岩が日本の
始まりの場所とされています



現在の澄んだ日本酒は兵庫で
発明され発展しました



最高級の酒米「山田錦」は
兵庫で品種開発されました



神戸から日本の近代化が始まり
多様な文化が定着しました



大震災を契機に創造的
復興の理念を確立しました



但馬牛の遺伝子は和牛の実に
99.9%に引き継がれています



日本最古の金物産地の起源は
1500年前とされています

日本一・世界一なもの



建造当時のままの姿を伝える
最も美しい世界遺産姫路城



世界に流通する真珠の
70%が神戸で加工される



明石海峡大橋は2021年まで
世界で一番長い吊橋でした



灘五郷は400年以上にわたり
日本一の酒どころ



180年続く淡路線香
の全国シェアは70%



直径20mを超える巨大な
渦潮は不思議な自然現象



神戸ビーフは厳しい基準をクリア
したトップブランド和牛です



商材の宝庫、淡路島の食糧
自給率は100%を超えます



日本最高・最古・最難関を含む
150以上のコースがあります

日本のあらゆる要素



人口10万人以上から500人未満まで様々な島があります



2つの異なる海域に面していて海産物が多様で豊富です



伝統文化や祭事が受け継がれています



各地に古い街並みが多く残っています



美しい夜景がひろがる大都市や工業地帯があります



森林セラピーが楽しめる山岳地帯があります



北部を中心に10以上のスキー場があります



自然と暮らしと生産が調和する里山がひろがります

Blessings gifted by Water

灘の酒の口当たりの秘密

灘五郷で用いられている仕込み水「宮水」はリンやカルシウム、カリウムなどのミネラルを多く含む硬水で、そのミネラルが麹菌や酵母の栄養分となって酵素の作用を促します。活発な発酵によって、灘の日本酒の味わいの大きな特徴である、コクとキレがある、スッキリとした味わいが醸し出されるのです。



カラフルな糸の色を引き出すのは

播州織は糸の段階で染色してから織り上げる先染織物です。200年以上前に兵庫中央部に伝わった織物の技術がこの地で定着したのは、この地域を流れる3つの川によって、糸染めに必要となる水資源が豊富であったこと。そして、その水の性質が、発色の良さを生み出す軟水であったことに由来します。

淡口醤油はこうして誕生した

日本食の出汁文化と密接に関わる色の薄い淡口醤油は兵庫西部の龍野が発祥。淡口醤油は一般的な原料である小麦・大豆・塩に、米を蒸した甘酒と鉄分の少ない軟水を加えることで製造できます。龍野の中心を流れる揖保川の水が、全国まれにみる鉄分の少ない軟水であったおかげで、この地で淡口醤油が誕生しました。

色が薄いので料理が綺麗に！



Blessings gifted by Earth

最高級酒米「山田錦」を育むのは

日本酒の原料米として最高の評価を90年にわたり受け続けている山田錦は、兵庫県が開発した品種。この山田錦の栽培に最も適しているのが兵庫中部の特A地区と呼ばれる地域。この辺りは3000万年以上前に湖底であったため、堆積した細粒の粘土質土壌が水分・養分をよく保持し、しかも根が深く伸びやすいので、栽培に適しています。



コウノトリの聖地はこうしてできた

兵庫北部の豊岡盆地は、大陸からコウノトリが飛来し定住化した日本の「コウノトリの聖地」。約2万年前に海の入江であったこの地は、川の流れのボトルネックとなる固い玄武岩に覆われた河口部の存在により、土砂の堆積と洪水を繰り返す湿地帯が形成された。この湿地が、水生生物の豊富なコウノトリの絶好の餌場となったことで定住化が進んだ。

いぶし銀と呼ばれて

日本三大瓦産地の一つに数えられ400年続く淡路島南部の「淡路瓦」は、今日では屋根材としてだけでなく、壁材や床材、装飾材として幅広く活用されている。その特長は「いぶし銀」と呼ばれる美しい銀色の仕上がりです。これは、この地域で産出される粒子が細かく鉄分を豊富に含んだ土が、焼成時に他に類を見ない強固な炭素膜を表面に形成するからです。



Blessings gifted by Air

雲海スポット発生中

兵庫の内陸部には里山や山地に囲まれた盆地が多く、その山を源流とする河川も多い。こうした地形では、湿度が高い傾向にあるなか、秋から翌春にかけては昼夜の寒暖差が大きくなり、放射冷却現象によって霧が発生しやすい。中世に築かれた山上の城跡では、まるで雲の中に浮かんでいるかのような幻想的な景観に遭遇できる。



最高技術の吊橋を200年維持するために

神戸と淡路島をつなぐパールブリッジは、1998年の完成当時、最先端の技術を結集した世界最長(3.91km)の吊橋として整備された。交通はもとより、島への水源供給でも重要な役割を果たすこの橋を長く安全に活用するため、吊橋のケーブル内部に乾燥空気を送気して、潮風にさらされる環境下でもケーブルの腐食が進まない工夫がなされています。

香体験で身も心もリラックス

夕焼けが美しい淡路島西海岸は、200年近く受け継がれてきた日本一の線香の産地。冬にこの辺りに吹く偏西風は漁業には厳しい条件ですが、練り込んだ線香の乾燥には適しています。工場には風を取り入れる工夫をした特徴的な窓があり、霽囲気のある景観を形成しています。アロマや香水、ハーバリウムなど香り全般のプログラムも整備されています。



ひょうごフィールドパビリオンとは?

背景1

兵庫にはさまざまな日本の**歴史的ルーツ**があります

背景2

兵庫には多くの**No.1コンテンツ**があります

背景3

兵庫は**日本の縮図**というべき多様性があります

背景4

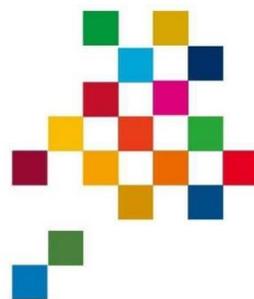
兵庫は**交通利便性の高い**場所です

これらを守り・継承し・発展させる
取組みは、まさに**SDGs**

兵庫発 SDGsを実感できる旅、それが

ひょうごフィールドパビリオン

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs



ひょうごフィールドパビリオン磨きあげ研修 第1弾のアンケート結果分析

キックオフ研修会 アンケート結果

1. 対象 SDGs体験型地域プログラム提供者

2. 目的 提供プログラムの魅力向上、プレイヤー間のネットワーク化促進、サポート人材参画の仕組みづくり

神戸(8/23)・姫路(8/28)・豊岡(9/1)の3会場で開催

▶ **62**プレイヤー **92**名が参加

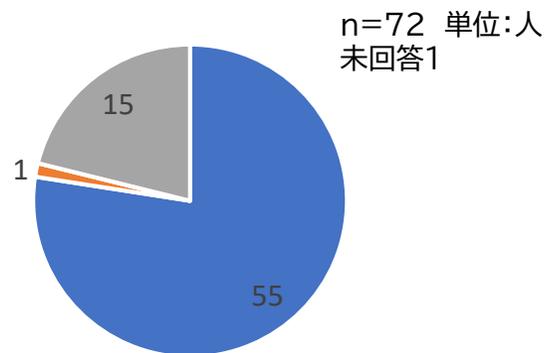
項目	内容
基調講演	・ひょうごフィールドパビリオンの趣旨・目指す方向性
講義	・プログラムの魅力向上の視点 ・磨き上げにおけるネットワークづくりの意義
ワークショップ①	・ひょうごフィールドパビリオンを通じて取り組みたいこと(目標設定)
ワークショップ②	・取り組んで行く上での課題認識、解決に必要なことは何か(課題認識)、サポート人材について



▲神戸会場の様子

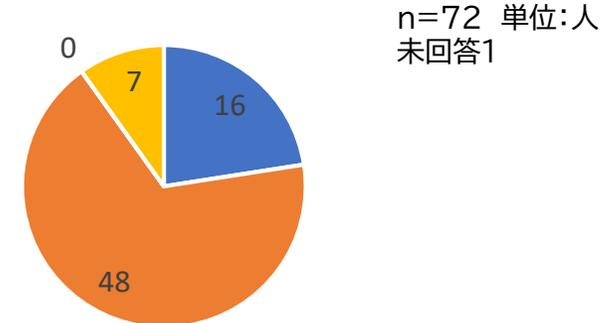
アンケート結果

■ つながりたいと思えるプレイヤーはいたか



■ 1. いた ■ 2. いなかった ■ 3. どちらとも言えない

■ 目標設定や磨き上げの方向性を明確化できたか



■ 1. 目標設定はできた ■ 2. 磨き上げの方向性まで明確化できた
■ 3. いずれもできなかった ■ 4. どちらとも言えない

主な意見

他のプレイヤーとのネットワークを広げたい

- 他のひょうごフィールドパビリオンプログラムへの視察や体験、意見交換の場が欲しい
- プレイヤー間で情報交換を行う場が欲しい
- 同じジャンルのプログラム提供者間で繋がる機会を創出して欲しい
- お互いの磨き上げの進捗を確かめるために、同様の研修会を今後も開催して欲しい
- 県民局を跨ぐエリア間の連携が必要

誘客に向けた知識や手法等について知りたい

- 効果的なPR手法や、SNSの活用方法を知りたい
- 多言語などのインバウンド対応や、ツアー化のポイントなどを知りたい
- お客さんへの説明方法について学びたい

サポートする人材が欲しい

- プログラム造成に向けたアドバイザーやコーディネーター等のサポート人材
- 「学生コンシェルジュ」など若い世代が参画する仕組みづくり

その他

- 磨き上げに活用できる補助金・助成金の紹介
- ツアー造成を行う旅行業者とのマッチング機会の創出

磨き上げ研修プログラムについて

R5.8～9 磨き上げ研修(キックオフ)

今後の研修プログラム(R5年度)

種類	時期	会場	内容	講師(予定)		
【第2弾】 座学研修	令和5年 10月～11月	神戸 姫路 豊岡	1 目 目	インバウンド対応(総論)・おもてなし力向上	パールコネクション 石井 由美子氏	
				インバウンド対応(現場対応)	パールコネクション 伊勢田 弘子氏	
			2 目 目	プログラム造成	神姫バス(株)	
				受入体制整備	旅行法令、危機管理対策	神姫バス(株)
					キャッシュレス決済の今後と対応	三井住友カード(株)
	ユニバーサルな受入環境整備	県ユニバーサル推進課				
	効果的な情報発信(SNS、HPでの発信等)	兵庫県広報プロデューサー 有田 佳浩氏				
【第3弾】 現地研修	令和5年 12月以降	県内 各地	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラムの提供現場を相互訪問 ● 磨き上げにあたって共通的に必要な事項 (座学よりも現地の方が効果的に学べるもの) <例> ガイドの実践、「映える」宣伝素材の作り方等 	兵庫県広報プロデューサー 有田 佳浩氏 他 調整中		

本日の論点(現地研修の方法)

- 研修内容 (班分け、訪問先の選定方法、同行する講師・アドバイザーの人選など)
- 実施方法 (回数、バスツアー、現地集合など)